



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月5日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL http://www.iwasaki.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 文矢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 昌範 TEL 03-5847-8611
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,954	△5.2	△771	—	△809	—	△528	—
25年3月期第1四半期	9,445	0.8	△579	—	△675	—	△456	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △16百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △254百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△7.10	—
25年3月期第1四半期	△6.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	58,627	22,055	35.4	279.40
25年3月期	60,959	22,081	34.1	279.61

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 20,782百万円 25年3月期 20,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	4.6	△550	—	△700	—	△600	—	△8.07
通期	54,000	3.7	1,100	21.5	750	36.8	350	△22.5	4.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	78,219,507株	25年3月期	78,219,507株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,836,458株	25年3月期	3,835,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	74,383,456株	25年3月期1Q	74,386,144株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
地域別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に発足した安倍政権が打ち出した大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略のいわゆるアベノミクスの「三本の矢」に対する期待感から株価の上昇や円高の是正が進み、輸出関連企業を中心に景況感は回復しつつありますが、5月下旬には中国経済の先行き不安から株価が歴史的な下落幅を記録するなど、雇用や所得環境の改善の遅れ、急激な円安による原材料・原油価格の上昇や電気料金の値上げ等の懸念もあり、先行きの不透明は払拭できず、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは全社重点事業戦略として、「固体照明(LED、有機EL)事業の強化拡大」「光応用技術の深堀りによる事業の創造」「海外事業の拡大」に取り組んでまいりましたが、LED照明事業は堅調な動きで推移したものの、HIDを主力とする従来型照明事業および光応用事業は低調に推移したため、当第1四半期連結累計期間の売上高、利益とも前年同期を下回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8,954百万円(前年同期は9,445百万円で5.2%の減少)、営業損失は771百万円(前年同期は579百万円で192百万円の悪化)、経常損失は809百万円(前年同期は675百万円で133百万円の悪化)となりました。四半期純損失は528百万円(前年同期は456百万円で71百万円の悪化)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、LED照明事業は売上高、利益とも堅調に推移しました。一方で、HIDを主力とする従来型照明事業は、加速するLED化の動きを受けて想定した以上に需要の落ち込みが大きくHID機器を中心に予想以上に低調に推移しました。

これらの結果、売上高6,176百万円(前年同期は6,481百万円で4.7%の減少)、営業利益36百万円(前年同期は営業損失15百万円で52百万円の改善)となりました。

<光応用>

光応用事業は、前年より続いている半導体、FPD関連メーカーの設備投資の抑制および延期の動きの影響を大きく受け、売上高、利益とも低調に推移しました。また、情報表示板は、売上高は前年同期を上回ったものの、価格競争が激しく利益は下回りました。

これらの結果、売上高2,800百万円(前年同期は2,981百万円で6.1%の減少)、営業損失330百万円(前年同期は営業損失96百万円で233百万円の悪化)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,332百万円減少し、58,627百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少4,227百万円、およびたな卸資産の増加1,288百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して2,307百万円減少し、36,571百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,374百万円、未払金の減少524百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、22,055百万円となりました。主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少528百万円、その他有価証券評価差額金の増加117百万円、為替換算調整勘定の増加394百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、世界の景気は、欧州では、緊縮財政の継続による景気回復の遅れが懸念され、また中国やインドでは欧州向け輸出の減少などをきっかけに景気減速へと変容してきております。一方、大胆な金融緩和を実施している日本では、明るい兆しがみられ、景気回復へ向かうことが期待されますが、米国での金融引き締め観測が台頭しており、全体では不透明な状況が続くと思われまます。

当社を取り巻く環境は、照明事業では、HIDを主力とする従来型照明事業はさらに縮小していくことが予想されるものの、LED照明事業は官需、民需のいずれもが堅調に推移する見込みです。一方、光応用事業では、新興市場の成長鈍化の影響や、半導体、FPD関連メーカーの設備投資の抑制の動きが継続しているものの、年度後半にかけて緩やかな回復に向かうものと予想されます。

第1四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、新商品の効果的な投入、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

以上により、現時点において平成25年5月9日付の「平成25年3月期決算短信[日本基準]（連結）」にて公表いたしました第2四半期累計期間ならびに通期の業績予想から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,666	13,147
受取手形及び売掛金	14,421	10,194
有価証券	500	—
商品及び製品	5,904	6,863
仕掛品	1,690	1,734
原材料及び貯蔵品	3,156	3,442
その他	1,532	1,959
貸倒引当金	△39	△41
流動資産合計	39,832	37,298
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,172	10,172
その他（純額）	6,052	6,012
有形固定資産合計	16,224	16,185
無形固定資産	509	515
投資その他の資産	4,393	4,628
固定資産合計	21,126	21,328
資産合計	60,959	58,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,559	8,185
電子記録債務	1,311	1,285
短期借入金	1,714	1,615
1年内返済予定の長期借入金	320	290
未払法人税等	213	58
賞与引当金	565	146
その他	2,635	2,343
流動負債合計	16,320	13,923
固定負債		
社債	2,350	2,350
長期借入金	4,415	4,310
退職給付引当金	10,636	10,746
その他の引当金	223	223
資産除去債務	125	125
その他	4,807	4,892
固定負債合計	22,557	22,647
負債合計	38,878	36,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	6,189	2,013
利益剰余金	4,739	8,388
自己株式	△908	△909
株主資本合計	18,660	18,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	716	834
土地再評価差額金	2,536	2,536
為替換算調整勘定	△1,115	△720
その他の包括利益累計額合計	2,137	2,650
少数株主持分	1,282	1,273
純資産合計	22,081	22,055
負債純資産合計	60,959	58,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	9,445	8,954
売上原価	6,750	6,364
売上総利益	2,695	2,589
販売費及び一般管理費	3,274	3,361
営業損失(△)	△579	△771
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	39	43
負ののれん償却額	9	—
保険配当金	21	20
その他	19	39
営業外収益合計	93	106
営業外費用		
支払利息	70	45
持分法による投資損失	6	10
退職給付会計基準変更時差異の処理額	78	78
その他	34	10
営業外費用合計	189	144
経常損失(△)	△675	△809
特別利益		
固定資産売却益	71	—
投資有価証券清算益	—	1
負ののれん発生益	—	2
その他	—	0
特別利益合計	71	4
特別損失		
固定資産除売却損	3	4
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	20	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△625	△808
法人税等	△173	△279
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△451	△529
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△1
四半期純損失(△)	△456	△528

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△451	△529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	118
為替換算調整勘定	199	320
持分法適用会社に対する持分相当額	58	73
その他の包括利益合計	197	513
四半期包括利益	△254	△16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259	△15
少数株主に係る四半期包括利益	5	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月27日開催の第98回定時株主総会の決議により、今後の財務戦略上の柔軟性および機動性を確保するため、資本準備金の額4,176百万円を減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替え、振り替え後のその他資本剰余金の全額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当しました。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光応用	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,465	2,980	9,445	—	9,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	1	18	△18	—
計	6,481	2,981	9,463	△18	9,445
セグメント損失(△)	△15	△96	△112	△466	△579

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△466百万円は、セグメント間利益の調整額△18百万円、報告セグメントに配分しない全社費用△448百万円等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光応用	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,154	2,799	8,954	—	8,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	0	23	△23	—
計	6,176	2,800	8,977	△23	8,954
セグメント利益又は損失(△)	36	△330	△293	△478	△771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△478百万円は、セグメント間利益の調整額△23百万円、報告セグメントに配分しない全社費用△455百万円等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

地域別売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）（単位：百万円）

日本	北米	アジア	ヨーロッパ	その他	計
7,477	1,017	761	101	87	9,445

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）（単位：百万円）

日本	北米	アジア	ヨーロッパ	その他	計
7,130	1,105	570	77	69	8,954

以上